



一隅を照らそう
1月号

288号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp

理想と現実

住職 中島 有淳

新年を迎え、新たな気持ちで、寿ぎ度いと思ひます。

昨年は何かと話題の多い一年でした。

まず米大統領にまさかのトランプ氏の選出に始まり、世界中がトランプ氏に振り回されました。特に北朝鮮の核ミサイルに対しては、過激な発言と圧力制裁に心配したものです。中国やロシアの関係もすこぶる微妙です。

安倍総理も小池都知事の失言で政権を確保し、森友・加計問題も強心臓で乗り切ろうとしています。

こうした中、「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」に、ノーベル平和賞が授与されたニュースは、上野動物園の「シヤンシヤン」の誕生とはまた違う、うれしい話題でした。

それから、すごかったのは十四歳棋士の藤井四段の話題で、その活躍振りにはワクワクしました。

一方、横綱日馬富士の暴力事件と引退をきっかけに相撲協会が混乱し、国技としての日本文化と品格というものに戸惑いを覚えました。

天皇陛下の御退位が、平成三十一年四月三〇日に決まり、翌五月一日に皇太子が即位され、元号が変わることになりました。築地の移転問題も東京オリンピックの準備と重なり、せわしくなりそうです。

個人的にも夫々大切な出来事があった事と思ひます。沢山の問題を抱えたまま、二〇一八年の幕が明けました。

福沢諭吉が自分の子供達に書いた「桃太郎」について紹介文がありました。

「鬼ヶ島にある宝は、鬼の所有物で、それを理由もなく取り上げるとは、けしからぬ悪者である。」また、桃太郎の故郷を任ずる岡山県の中学校では「鬼の側から考える授業」というものがあるそうです。

退治される鬼に、もし子どもがいたらどうだろう。（中略）それでも桃太郎は鬼を退治したのかどうか、議論が展開する。そもそも鬼退治を思い立ったのは「鬼を悪者と決めつけてしまったから」という意見も出たという

（朝日新聞『天声人語』十二月二十八日付より抜粋）

相手の側に立ってみれば、見える風景ががらりと変わる、と本稿は続いています。これはとても仏教的な発想とも言えます。答えが一つではない、というのが大きな仏教の特色です。

相手や場面が変わると、使う言葉も異なるものです。正しい理解には、正しく見たり、聞いたり、思ったり、そして話したり、という「八正道」の世界は、仏教の大切な基本の一つです。

その昔、釈尊は『恨みを抱く者の中にあって、我々は安らかに恨みなく生きていこう。悩みなく生きていこう。むさぼりなく暮らしていこう。』といわれました。

人に求めず自分を変えよう。すべてわが身の一步から

折りふしのはな

こまいぬ（狛犬）

お寺や神社の入口で

よくみかける狛犬

その来歴には諸説ありますが

御仁王様と同じような

意味合いがあると云われています

「夫婦喧嘩は犬も何とやら…」

と 言いますから

こまやかな気配りをし

あ・うんの呼吸で息を合わせ

けんかの種をまかないよう

注意したいと思ひます

（遊）



SUSTAINABLE PEACE 2018 年

行事案内

◎元日 平成三十戌戌歳（午前五時・午後二時）

開運初護摩供厳修

秘仏 薬師如来御開扉（元日～八日まで）

◎一月八日 午後二時

初薬師如来大護摩供

◎一月十二日 午後二時

日本橋智泉院法要日（於・茅場町）

◎一月十八日 午後二時

初観音経読誦法要（於・観音堂）

◎一月二十八日 午後二時

初不動尊大護摩供

◎二月三日 午後二時

節分会

◎息災護摩札

◎厄除護摩札（志納金 一体五千元）

◎盗難除お札 ○火防お札

◇自動車交通安全お守り（志納金 三千元）

（前以て番号をお知らせ下さい）

*毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております

（都合のよろしい時には、一緒にどうぞ）

おとがまじ

○明けておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 …… 院内一同

○廊下に募金箱二つ。天台宗地球救援事務局へ四三、六八一円。アーユス（仏教NGO）に一九、一五〇円を、それぞれ歳末に寄託しました。茲にご報告と共に御礼申し上げます。

○戌の年生まれば性質正直で義理堅いが強情で他の忠言を聞かず、凝り性で芸術製作発明好きである。他の力により成功する天運であるから、長上に随えば中年にて成功しよう。

『天台こよみ』より

○昨年は、お不動さまのご縁の年で、多くの方がお参りでした。また比叡山の西塔・釈迦堂でも、三十三年ぶりのご開帳に、連日多くの人出が。今年はどうなるでしょう。

○※犬も歩けば（きをつけて）希望にあたる※

○梅が咲けばすぐに節分。寒さ厳しき折、御自愛下さい。合掌